

# 3年 世界史B 課題(5/22-28)

\*教科書P91-94を読みながら、空欄( 1 )～( 45 )に適する語句をルーズリーフに書きなさい。ただし、文中に空欄に入る語句が出ている場合がある。

\*中国史が続きますので、普段使わない漢字がたくさん出てきます。教科書をよく見ながら漢字を書き間違えないように注意してください。また、読み方もよくみておいてください。

## 広がる中華文明(P91)

漢の時代、その拡大政策は南方にも及び、(1 )を滅ぼして雲南地方を郡県化し、(2 )にまで領土を広げ、交趾(ハノイ付近)など9郡を置いた。しかしベトナム地方の情勢はつねに不安定であった。ベトナム北部は唐の(3 )の治下に入ったが、雲南地方ではチベット=ビルマ系の(4 )が(5 )を中心に自立し、唐の(6 )を受けて、漢字その他の中華文明をとり入れた。ベトナム中部の(7 )(8 )、その西の(9 )(10 )、スマトラ島の(11 )などもインド文明の影響下にあったが、それぞれ唐と長江の関係をもった。

## ここからP92 7行目

この(12 )は、チベット高原と東南アジアにおいて、インド文明圏と接することになった。チベットでは、7世紀のはじめ、(13 )によって統一王国(14 )が建てられ、唐の懐柔政策を受けつつも、一時は中央アジアを占領したり、長安をおとしめたりするほどに成長した。吐蕃の文化はインド文明の影響が強く、(15 )や(16 )が生みだされた。

## 朝鮮半島と日本列島(P92)

朝鮮半島の風土は、寒冷で降水量が(17 )、山間に狩猟や漁撈の民が散在する北部と、西南日本や中国大陸の華中・華南と同様に照葉樹林が広がり、温帯湿潤の地として稲作に適した南部とに大きく分かれる。北部は地勢上、中華文明が直接に及ぶ位置にあり、前2世紀初頭、戦国時代の(18 )の系譜を引くという(19 )によって独自の王国(20 )が成立した。前108年、衛氏朝鮮は(21 )の武帝によって滅ぼされ、この地方に漢の(22 )が置かれた。しかし楽浪郡をのぞいて、漢の支配はゆるみ、後漢末には遼東半島で自立した公孫氏が楽浪郡一帯を手中におさめて、その南部

## ここからP93

に帯方郡を分置した。公孫氏は3世紀半ばに魏に滅ぼされたが、やがて楽浪郡は朝鮮半島北部の(23 )によって313年に、帯方郡は半島南部の韓族によって滅ぼされた。

朝鮮半島の南部では、農耕を生業とする韓族の諸国が(24 )・(25 )・(26 )の三韓にまとめられ、4世紀半ばには、馬韓の地に(27 )、辰韓の地に(28 )、

中南部に(29 ) (伽耶、任那)諸国が成立した。高句麗は、(30 ) (31 )の時代から隆盛し、新羅や百済と勢力を競いあった。これら3国は、南朝や北朝に(32 )して(33 )を受け、中国の権威を借りながら7世紀まで抗争をつづけた。

隋唐時代に入ると、朝鮮半島の3国はそれぞれ再建された中国に朝貢して冊封を受けた。高句麗の進出を恐れた(34 )は、冊封体制の秩序をやぶったという名目で、ともに高句麗に大軍を送った。(高句麗遠征)。高句麗はこの侵攻を撃退したが、唐と結んで勢力をのばした(35 )が、唐の援助によって、まず660年に(36 )を、ついで668年に(37 )を滅ぼし、676年に(38 )の勢力を排除して、朝鮮半島で最初の統一国家を樹立した。

この新羅(統一新羅)は、あらためて唐の冊封を受け、中華文明を受容しながら中央集権の体制をつくりあげ、(39 )とよばれる独自の身分制度によって貴族中心の社会秩序を整えた。(40 )も保護され、首都(41 )には(42 )などの寺院が建立され、仏教文化が栄えた。

ユーラシア大陸の東端、中国大陸の(43 )では、7世紀末に(44 )が靺鞨の民と高句麗の遺民を率いて(45 )を建国し、唐の冊封を受けて中華文明を積極的に摂取した。